

知事コメント

令和2年9月18日(金)

8月以降の急速な感染拡大に対応するため、厚生労働省の皆さま、自衛隊の皆さま、ジャパンハート様、そして全国知事会を通じて15道県の皆さまが応援に来ていただいておりますが、本日9月18日、愛知県からの応援看護師の皆さまによる活動期間が終了し、これをもって県外からの応援は終了となりました。

8月19日から9月18日までの間、15道県から34名の皆さまに、それぞれ概ね2週間、主に集団感染が発生し、医療従事者が不足している医療機関等の現場において、医療を継続するために活動していただき、大変大きな支えとなっていただきました。

看護師を派遣していただきました、鳥取県様、大分県様、高知県様、福井県様、長野県様、宮城県様、徳島県様、山梨県様、青森県様、兵庫県様、福島県様、広島県様、鹿児島県様、北海道様、愛知県様、そして全国知事会の皆さまに対し、心から感謝を申し上げます。

皆さまのご尽力により、沖縄県では、新規感染者数が8月中旬をピークとし、現在は収束に向けた道筋が見えてきています。

一方、次の感染流行の波に備えて、県看護協会において県内医療機関等へ呼びかけ、応援看護師の登録を進めているところであり、今後も気を引き締めて、感染防止対策の徹底と万全な医療体制の構築に取り組んでまいります。

なお、今回自宅療養された方々等にアンケートをさせていただいておりますので、その回答は今後の取り組みに反映させ、より安心して療養できる体制の整備に努めてまいります。

明日から、大型連休が始まります。9月14日に、「沖縄県新型コロナウイルス感染注意報」でお知らせしましたとおり、連休中には人の移動が活発となり、感染者の増加も懸念されることから、十分な健康管理とあわせて、マスクの着用や手洗い消毒の徹底、3密環境を回避するなどの対策をぜひお願いいたします。

また、9月21日は敬老の日となりますが、高齢者の皆さまとの直接の面会は控えていただくようお願いいたします。

日常的な感染防止対策を徹底することで、感染拡大をおさえつつ、新型コロナと共存する社会においてもしっかりと日常生活を守っていきましょう。引き続き「新しい生活様式」に沿った県民お一人お一人の取り組みをよろしくお願いいたします。